

荷主各位

令和元年 11 月

東京 2020 大会期間中の臨海部における物流対策に係る  
ご協力について(お願い)

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、トラック運送業界に対しまして格別なるお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、東京 2020 大会(以下「大会」という。)の開催に当たりましては、円滑な大会輸送の実現と経済活動の維持の両立を図るため、交通量の抑制や分散、平準化を行う「交通需要マネジメント(TDM)」が求められており、荷主の皆様にもご理解とご協力をお願いしているところで

す。  
特に臨海部にはオリンピック関連施設が集中する中、青海・大井コンテナふ頭などの港湾施設をはじめ、物流倉庫や運送事業者の車庫等も多いことから、道路の混雑等により都民等への生活物資の輸送に大きな影響が生ずる懸念も大きく、特段の対応が必要となっております。

大会開催時の混雑対策としては、既に首都高速料金の夜間割引の実施等、物流を夜間にシフトする対策の実施も検討されていますが、それを促進する上で、東京都港湾局では、コンテナターミナルゲートの早朝・夜間オープンの実施に向け関係者と調整しているほか、24 時間利用可能な貨物の一時保管場所(ストックヤード)を増設し、交通混雑が予想される日中に、コンテナターミナルから実入りコンテナを搬出して仮置きし、交通需要の少ない夜間・早朝に荷主等へ配送する仕組みを構築することとしています。

今年の夏には大田区城南島ストックヤード実証試験が行われましたが、その結果を踏まえ、大会開催時には4か所にストックヤードが設置され展開されることとなっています。トラック運送業界としては、この物流の夜間・早朝シフトへの要請に対し、自社の車庫・倉庫等の活用も図りながら、対応策を検討していきたいと考えています。

この試みにより、配送時間やルート等、荷物の動きが変化をしてみありますが、大会の成功に向けたこの取り組みに対し、是非とも荷主の皆様のご理解・ご協力を賜りたく、よろしくごお願い申し上げます。また大会期間中の混雑を回避するため、配送時期の前倒し等、この時期の混雑緩和に向けた取り組みについてもよろしくご検討願います。

謹白

関東トラック協会海上コンテナ部会  
東京都オリンピック・パラリンピック準備局  
東京都港湾局

【参考:ストックヤード等を活用した、配送時間の変更イメージ】

- ① 都内交通混雑が予想される日中に、港湾地域で、コンテナターミナルからは実入りコンテナを搬出し、ストックヤードや車庫・倉庫等に仮置きをする
- ② 交通量の少ない夜間・早朝にストックヤード等から出庫し荷主等に配送する  
⇒夜間・早朝における貨物の搬出入(東京港⇄荷主)を促進

